

えっと…喜多川海夢だっけ？
催眠セラピーの目的は…好奇心？



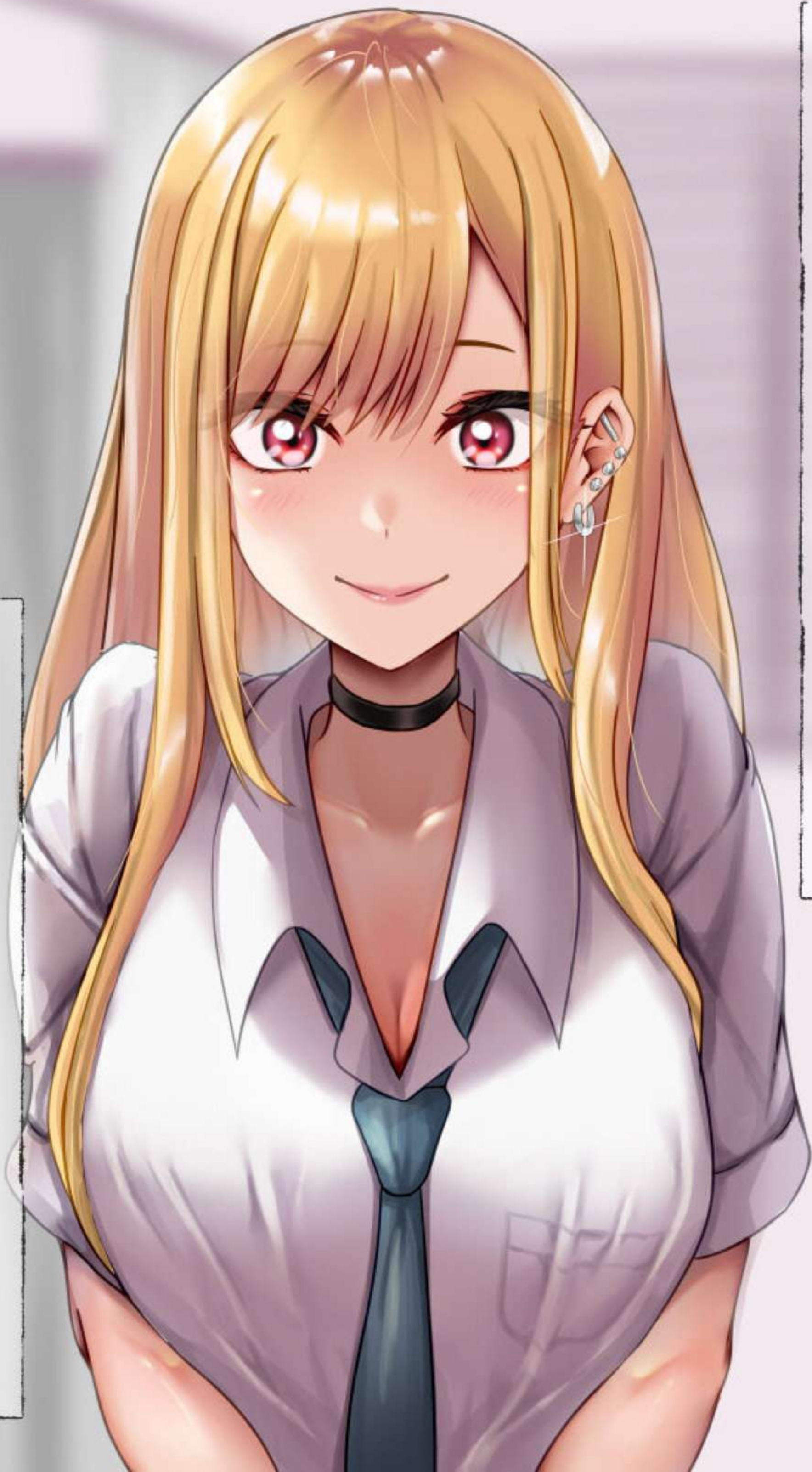
あの、喜多川さん？催眠セラピーは
厳然と治療目的の医療行為…

ええ〜、先生、固すぎる。
最近やっているエロゲに催眠にかかった
主人公が出てそれを体験してみたいからです。

クラスメイトから先生が
催眠セラピーというのをすると
聞いてすぐ駆けつけましたよ。



エロゲ…？エッチなゲームのこと？
学生がそんなことをするには少し早いんじゃないかな？



それよりもう一度言うが、
催眠セラピーはいたずら目的でするものではない。



せんせい……今度一度だけおねがいします。
そしてエロゲの話は秘密！

はあ……そうだね、体験くらいは大丈夫かな。
そう、何のテーマで催眠セラピーをしてみたい？

普通、他の学生は学業ストレスや
人間関係について主に依頼するが……。

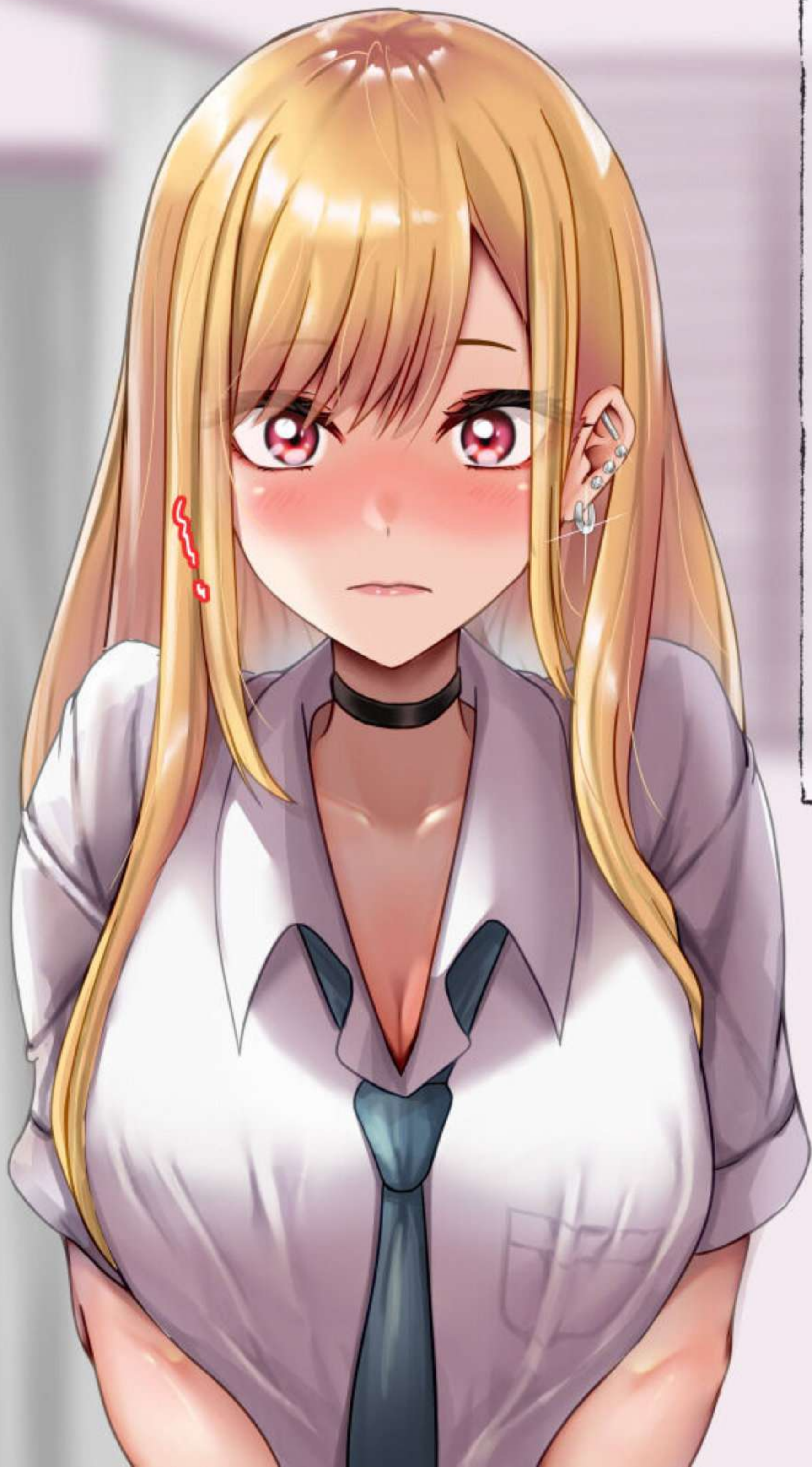




人間…関係？
先生、それもしかして好きな人のことでもいい？

もちろん可能だ。
喜多川さん、好きな人がいるみたいだね。

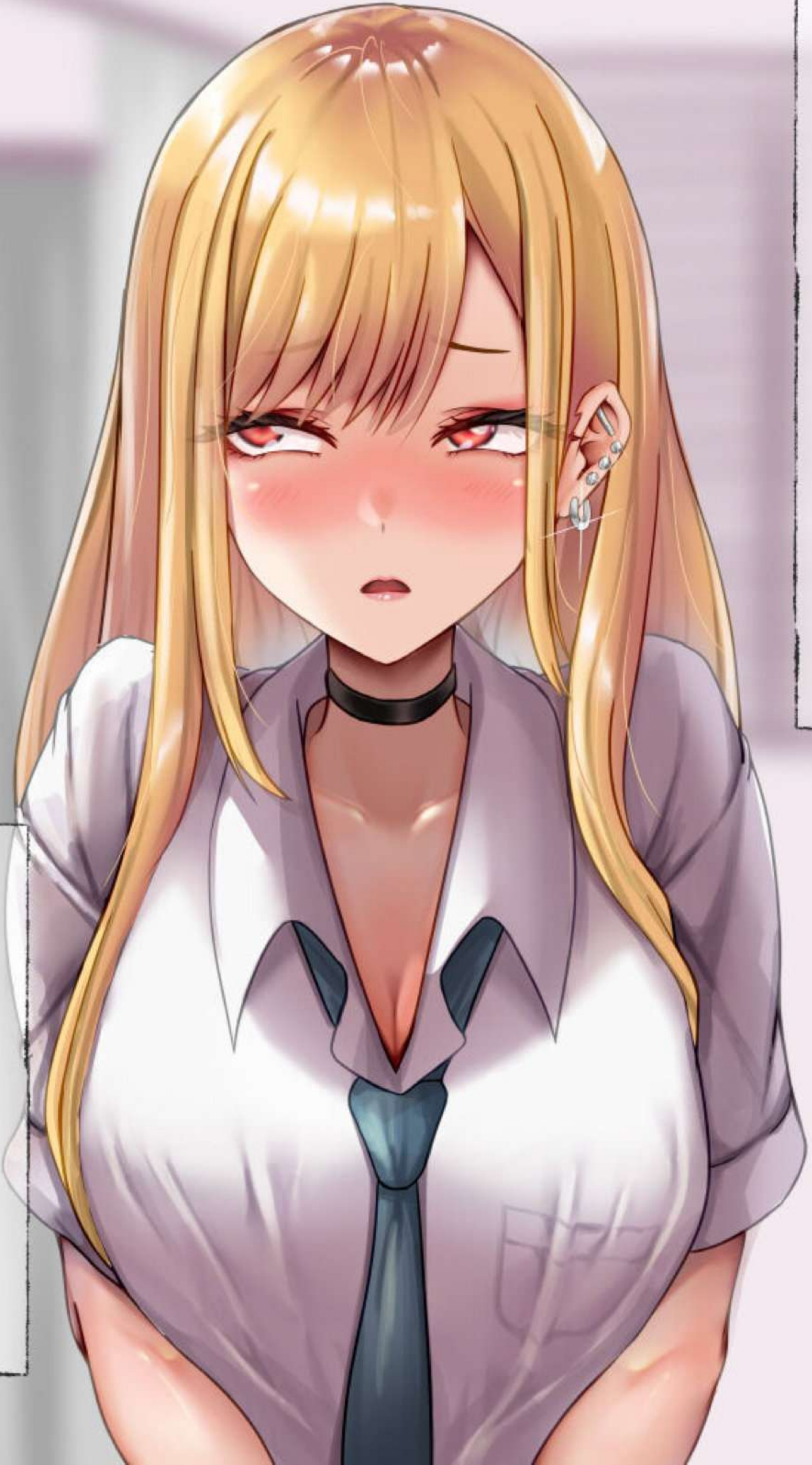




ハハハ。正解か。誰かは分からないけど羨ましいよ。

あの先生。それが誰なのかも…言うべきなの？

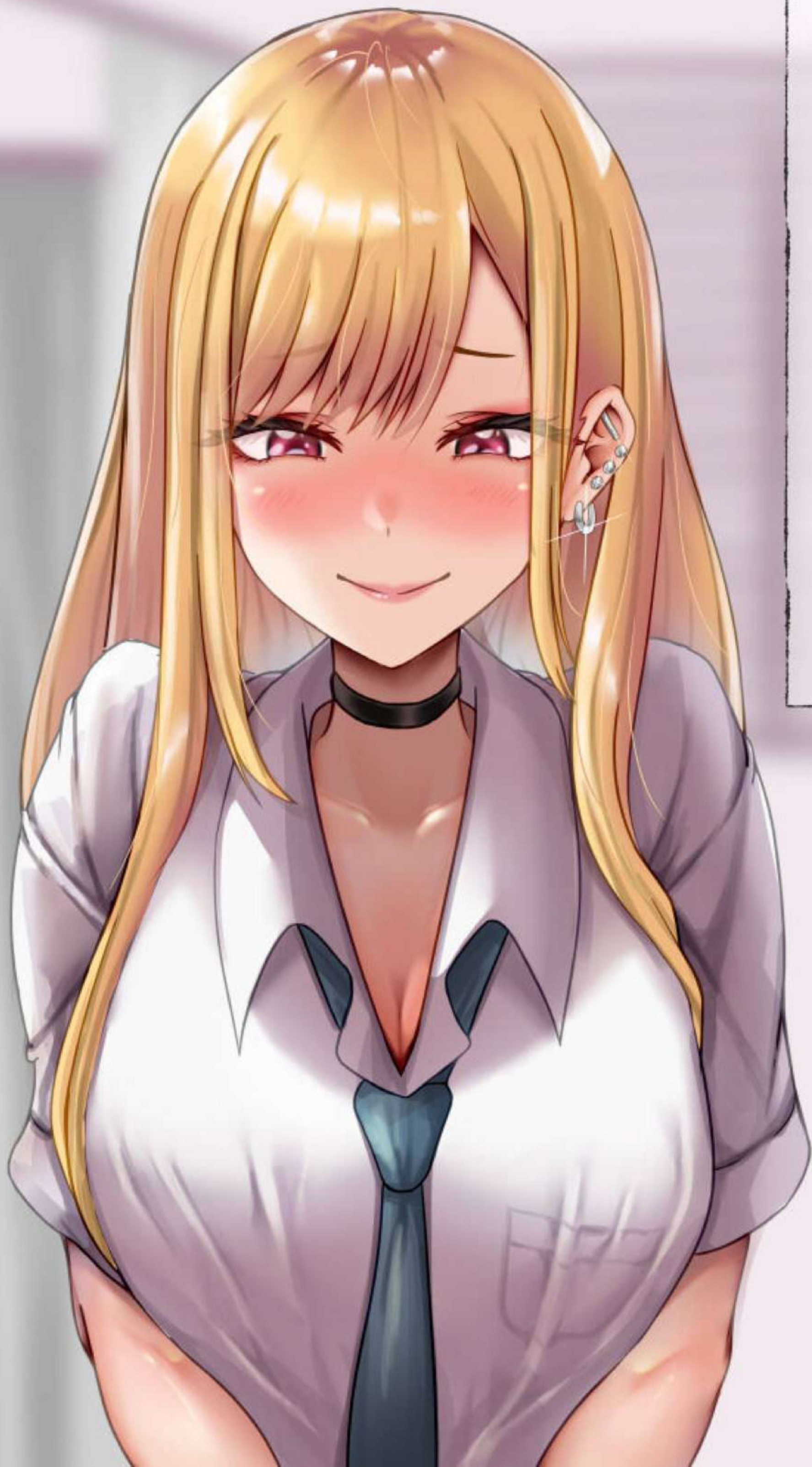
それはちよつと困るんだけど…



いや、言わなくてもいいんだよ。
(どうせ催眠にかかれば自分で言うようになっていくから)

ただその人を強く考えればいいんだよ。
本当に好きなんだね。





うん……これは秘密にすることをお願い。……



あの、先生！
それ好きな人とやりたいこと全部できる？


まあ…何をするかによって違うけど
普通は自分の思う通りにできるよ。

じゃあ始めてみようか？



うん！よろしくお願ひします！





さあ…あなたは目の
前のボールに意識を集中します。

あなたは今から何があっても
このボールから目を離せません。

ボールが一度ずつ往復するたびに、
あなたの気持ちはだんだん楽になり、

体から力が抜けていきます。
そして呼吸もだんだん安定していきます。



ボールを眺めていると、
だんだんあなたの意識が
ボールの中に吸い込まれていく感じがします。

そして周りの他のことは
気にしなくなります。



あなたは…うん？



あのさ、集中してくれないと
まともな催眠がかからないのよ？



ごめん、ごめん、先生。

本当に催眠なんだなと思って
思わず笑いが出てしまつて。
ドキドキした感じ？



期待するのは分かるけどどうせやるなら
ちやんとやってみるのがいいんじゃないかな？



ソーリー先生。
もう一回始めよう。うん？

今度はしっかり集中しますから。



分かった。じゃあ、また始めるよ。



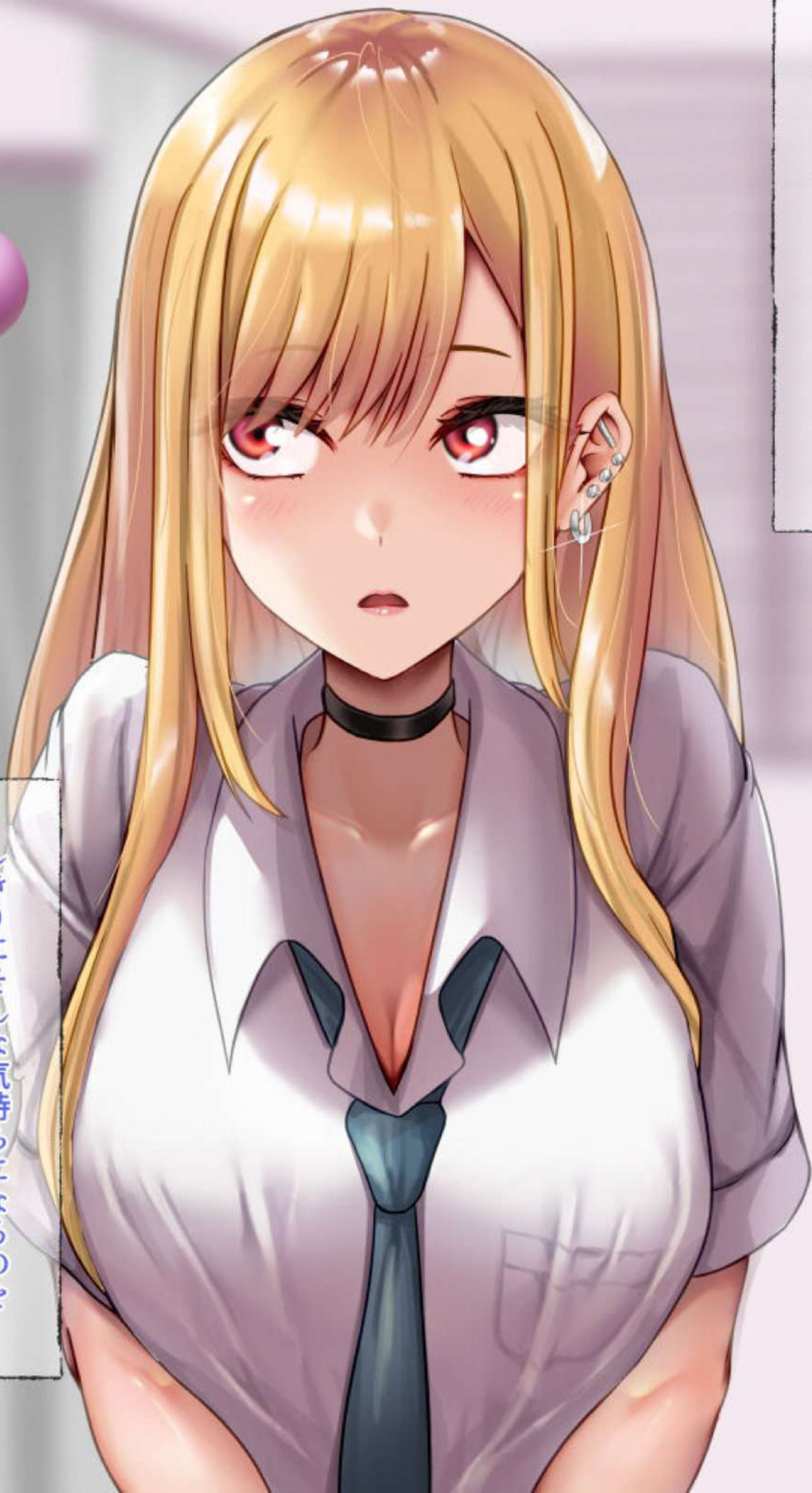
あなたの意識はこのボールにつかまります。

あなたの目はますます重くなり、
何も考えられなくなります。



あなたはそうなるのが
だんだん気持ちがよくなくなります。

しきりにそんな気持ちになるのを
止めることができません。



あなたの意識はだんだん深いところに
吸い込まれます。
しかし、私の声だけははつきりと聞こえます。

ハッ

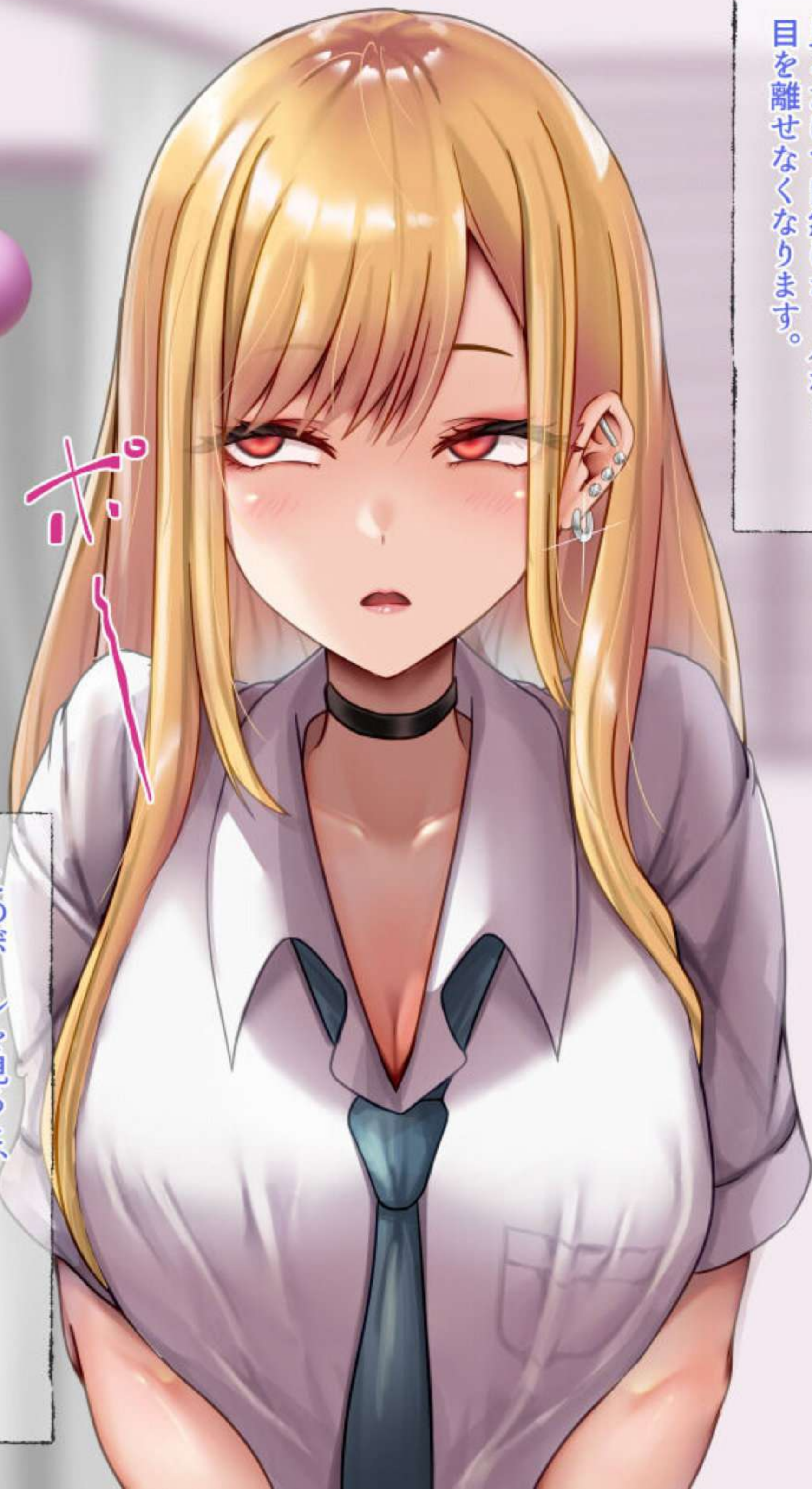
むしろ意識がどんどん吸い込まれるほど、
私の声はあなたの心の奥深くに響きます。



これからあなたはこのボールを
見るだけで自然にボールから
目を離せなくなります。

ポ
ポ
ポ

このボールを見ると、
ずっと見たくてたまらなくなります。



あなたはこのボールを見るだけで
今のような催眠状態に突入します。

ハ
ハ
ハ

この状態があなたにはとても
気持ちいい状態だからです。



私がカウントを逆さまに数えると、
意識がどんどん現実に戻ってきます。



3,2,1,0!

えつと…先生？
もう終わったの？



いや、これからが始まりだよ。

ちよつと催眠導入部だけ
やってみただけど感じはどう？



ううん…何だかすごくぐっすり寝た感じ？

頭の中がすごくくすつきりした。
催眠すごいね。



それはよかったね。
ちなみに催眠が解けたみたいだけど、

実際は今あなたは催眠にかかった状態でもあるよ。





えっと…？本当？
私今完全に正常だよ。



それはこのボールを見れば分かるようになるよ。

あなたの意識は
また心の奥に吸い込まれます。

ハッ

そうなるのが気持ちよくて
我慢できません。



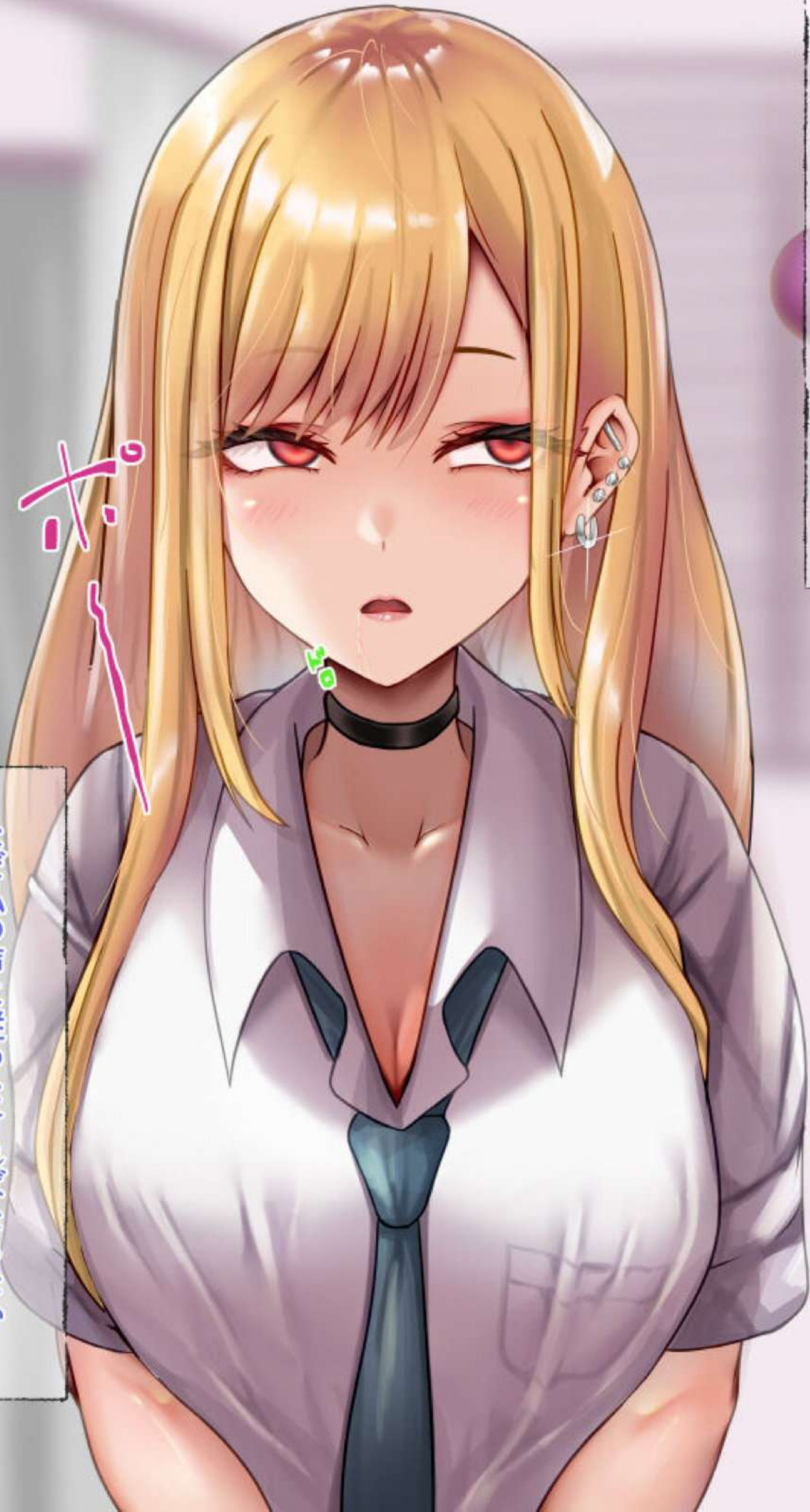
あなたの心の奥深くに響く私の声も
あなたの気持ちを良くしてくれます。

ハッ

ずっと聞きたくなって、
私が言う通りにしたくなります。



あなたは何も考えられなくなります。



ただ私の声に従わなければならない
ことだけが残ります。

あなたは考える必要がありません。
命令にだけ従う人形のようになります。

ハッ

それが気持ちいいから
あなた自身そうなります。



このボールが頭の上に移ると
あなたは完璧な人形になります。

ポ
ン

これからは私の命令だけを
待つようになります。
それが楽しみだからだんだんそうなります。



さあ、もう少しでああなたの意志は完全に消えます。

ハッ

そうなるのが気持ちよくて我慢できなくなります。



あなたはいつでも私が「Blank」と言うようになる今の状態になります。

ハッ

あなたの無意識から、それをとてども
気持ちよく思っているからです。
しかし、これを普段は思い出せません。

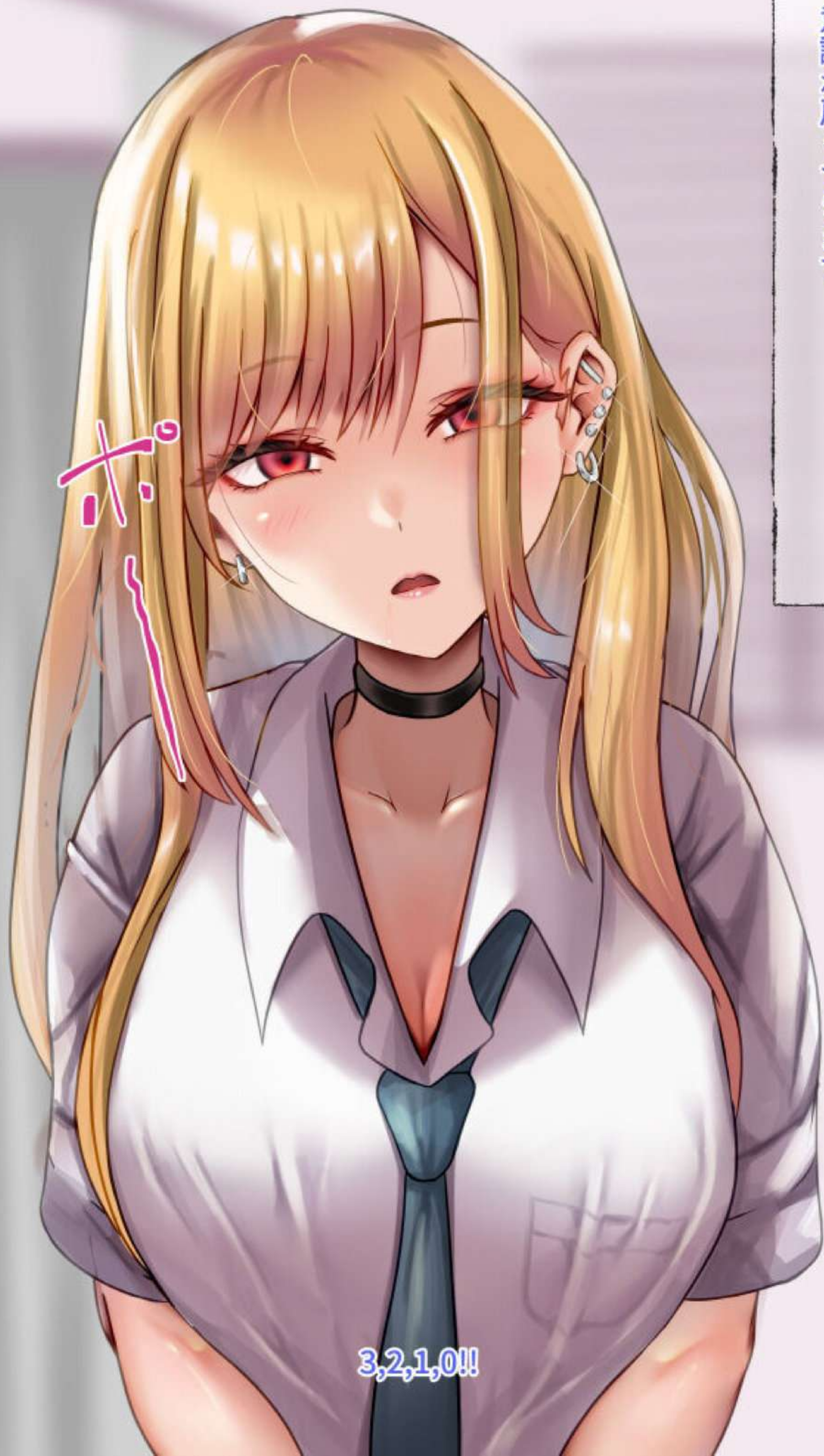


もう一度私がカウントを
かぞえると意識が戻ってきます。



3,2,1,0!

やれやれ…催眠深度が深まったのか…
意識が戻ってきます。



3,2,1,0!!

えっと…先生？
どうして僕の部屋に…？



ハッ! 唾こぼした?





あ、それは自然な現象だ。
筋肉が弛緩してそうしただけだから。

それより気分はどう？

うん…なんかすごくふわふわで
気持ちいい感じだったと思う。

さわやかでもあるし。



それでは次の段階に進めるのも
気持ちいいね。
だよね？



ええと…次の段階？



今これで終わったのではない…

'Blank'

うん、いいね。
後催眠暗示もまともにも聞いているね。

オ
キ
ン

じゃあマリリン。
ベッドに行って座ってくれる？





はい…
マリンはベッドに行って座ります。

それでは本格的な

「セラピー」を始めてみようか？

ハッ



一応催眠は成功にかかったようで…

どのくらい深度でかかったのか
実験してみようか。



マリリン、自己紹介してみる？



喜多川海夢…高校生…
誕生日は3月5日…



身長は164cm…
サイズは86-58-85…

ちやんと紹介するんだね。

それではマリンの最近の悩みは何だろうか？



どうすれば五条君に
アピールできるのか…知りたい…



五条君？
同じクラスのあの五条君のことかな？

もしマリン、君は五条君が好き？



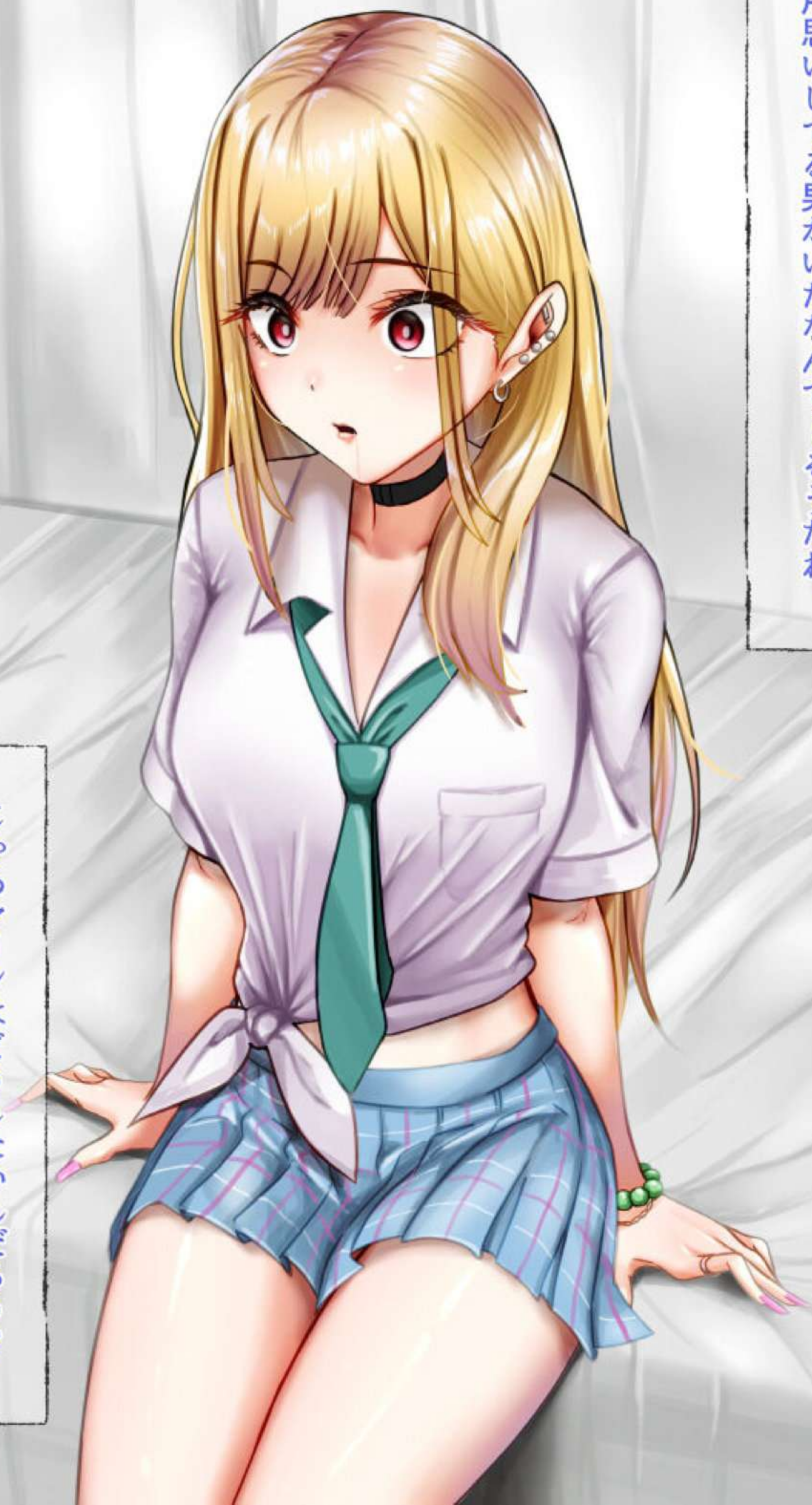
五条君…大好き…

うれしくてたまらない…きゅ～したい…



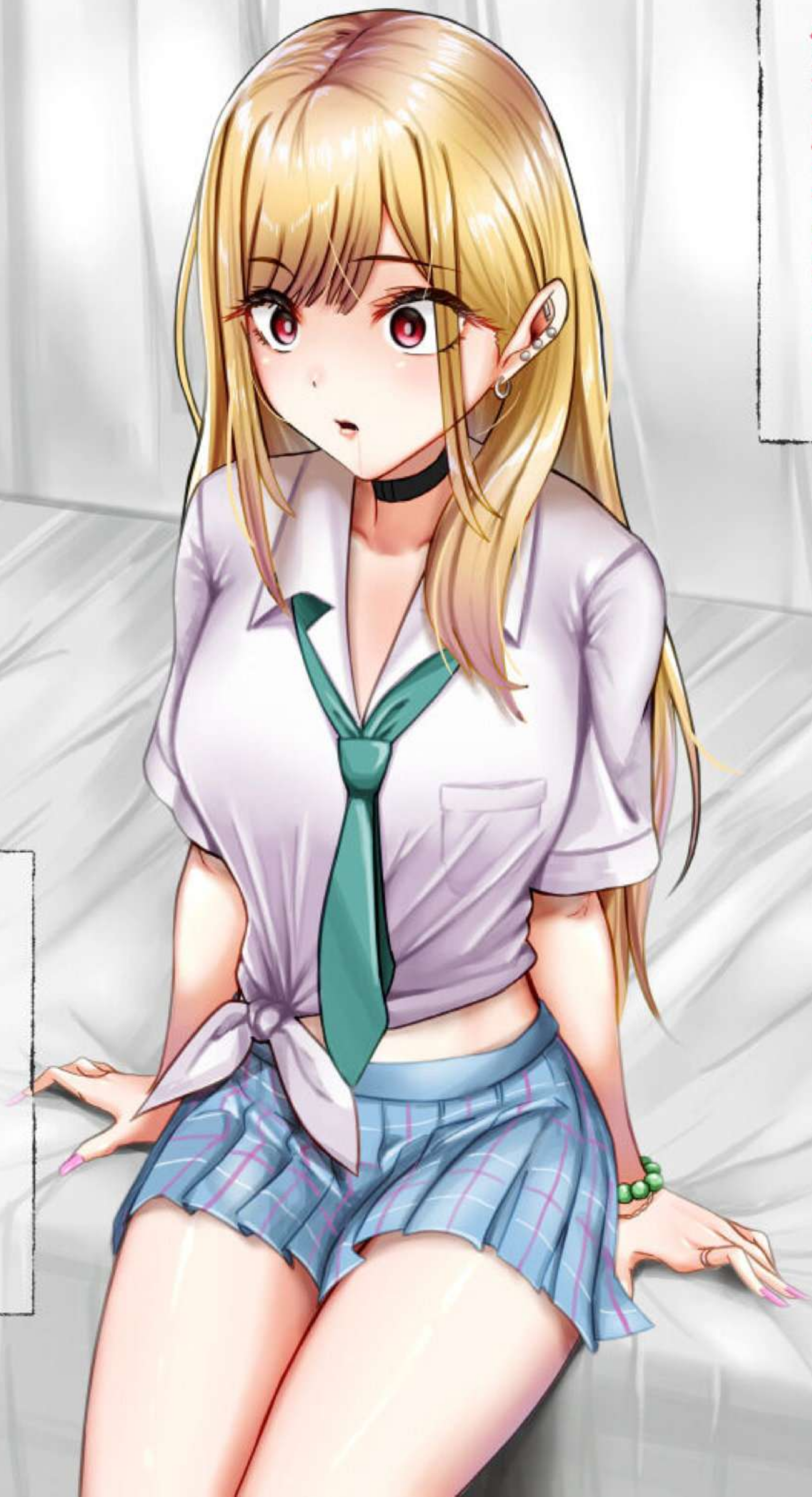
はあ…これ学校最高の美人の一人に
片思いしてる男がいたなんて…そうだね。

じゃあマリンはどうしたいんだろう？
前に五条君がいると思って普段思っ
ていたことをやってみる？



僕が…思っていたこと…

目の前には…五条君…



えっと……？マリン！

ストップ！ストップ！！



急に服を脱ぐとは……
ちよつと待って、これは下着じゃなくて水着かな？

学校に水着を、それも露出の激しいビキニを
着てくるなんて……。もしかして下も？



マリリン、続けてもいいよ。



彼女は一体何がしたいんだらう…？
普通好きな男が目の前にいるとこんな
脱いでしまうのかな？

いくら水着だとしても…





マリリン。今この状況を説明してみる？

学校にどうして水着を着てきたの？



五条君：コスプレ衣装を作る時…
この水着好きだったから…

今日も…サイズを測ろうと…そして…

うん、そうかな。そしてその次は？



えつちち…。



えっと…何だって？



五条君とエッチ…できれば…



はあ…最近の子たちは本当に…
まあ、そんな歳ではあるが。

一応マリン、今からカウントを数えると、
君は深い眠りに落ちることになります。

3.2.1.0!

まず催眠深度をもっと深く入れる必要があるね。

もし記憶に残ったらダメだから……

おっと…危なかった。

この状態で催眠状態から覚めると大変だよ。

あなたはまた深い眠りに落ちます。
そこはあなたが望むすべてのものがある世の中です。

早くそこに行きたくてあなたは耐えられません。

ますます、ますます、心の底に落ちて行く。
まるで底が見えない穴の中に吸い込まれていくようです。

でも、そこはあなたが望むことがある場所なので
怖くはありません。

そこに到着すると気分がよくなります。

スー
スー
スー

そこはあなたの夢の世界、
体から力がどんどん抜けていきますが
幸せ感はどんどん大きくなっていきます。

カウントをかぞえると、もっと深い眠りに落ちます。

スー

スー

ス

3,2,1,0!

いいね。完全に眠ったね。

カー

カー

カー

あごの強直度も完全に緩んだ。睡眠深度は……

いい感じで完全に催眠による睡眠状態になったね。

じゃあ、この状態でマリンの
深層意識を触ってみようか？

カー

カー

カー

あなたは今とても気持ちいい夢を見ています。

カー
カー
カー
カー

今あなたがいるところはあなたが望んでいた場所です。そこはどこですか。

五条君の攻防……

五条君の部屋の中……

Dr.

あなたの周りには誰がいますか？
その人は今何をしていますか？

カー

カー

カー

Dr.

勝手に想像の中の状況を描いてるね。

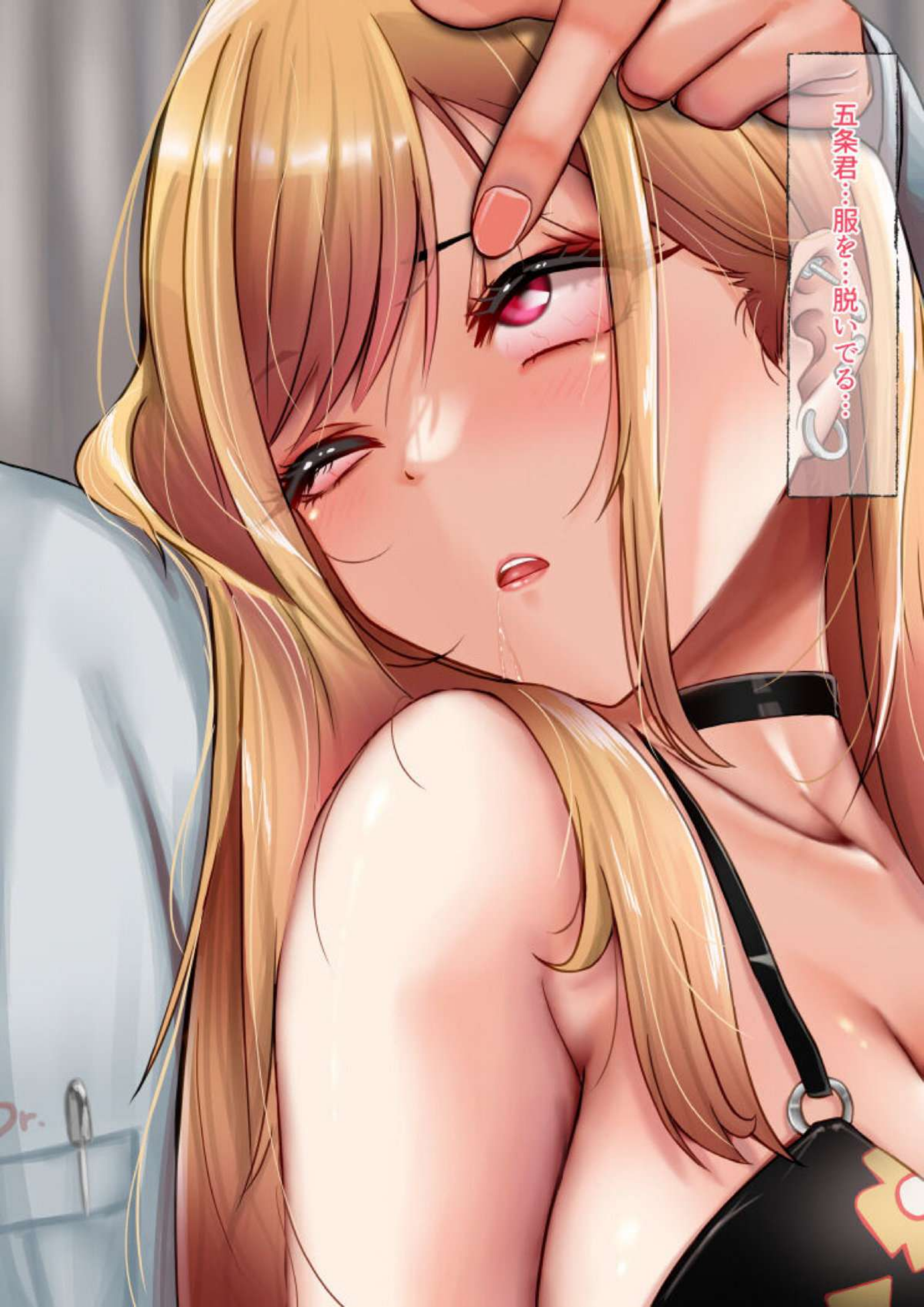
カー

カー

カー

Dr.

五条君…服を…脱いでる…



そうですか。
現在あなたたちは何をしようとしていますか？

カー

カー

カー

Dr.



やっぱりまだ羞恥心が少し働いてるのかな？

カウントをかぞえると、
あなたはもつと深い睡眠状態に陥ります。

カー

カー

カー

そこではあなたに
私の言葉以外には何も聞こえません。

3,2,1,0!

このくらい深く催眠をかければ大丈夫だろう。

カー

カー

カー

後、催眠状態の維持もしやすいだろうし。

完璧に彼女の眼球が上に上がったね。

カー

カー

カー

次の段階に行ってもいいよ。

Dr.

この次はあなたは何をしていますか？

ホーッ



五条君とエッチ……

ちんぽを立ててあげないと……。



彼女から羞恥心という
リミッターを解除するから、

本当にやりたいようにやるんだね。



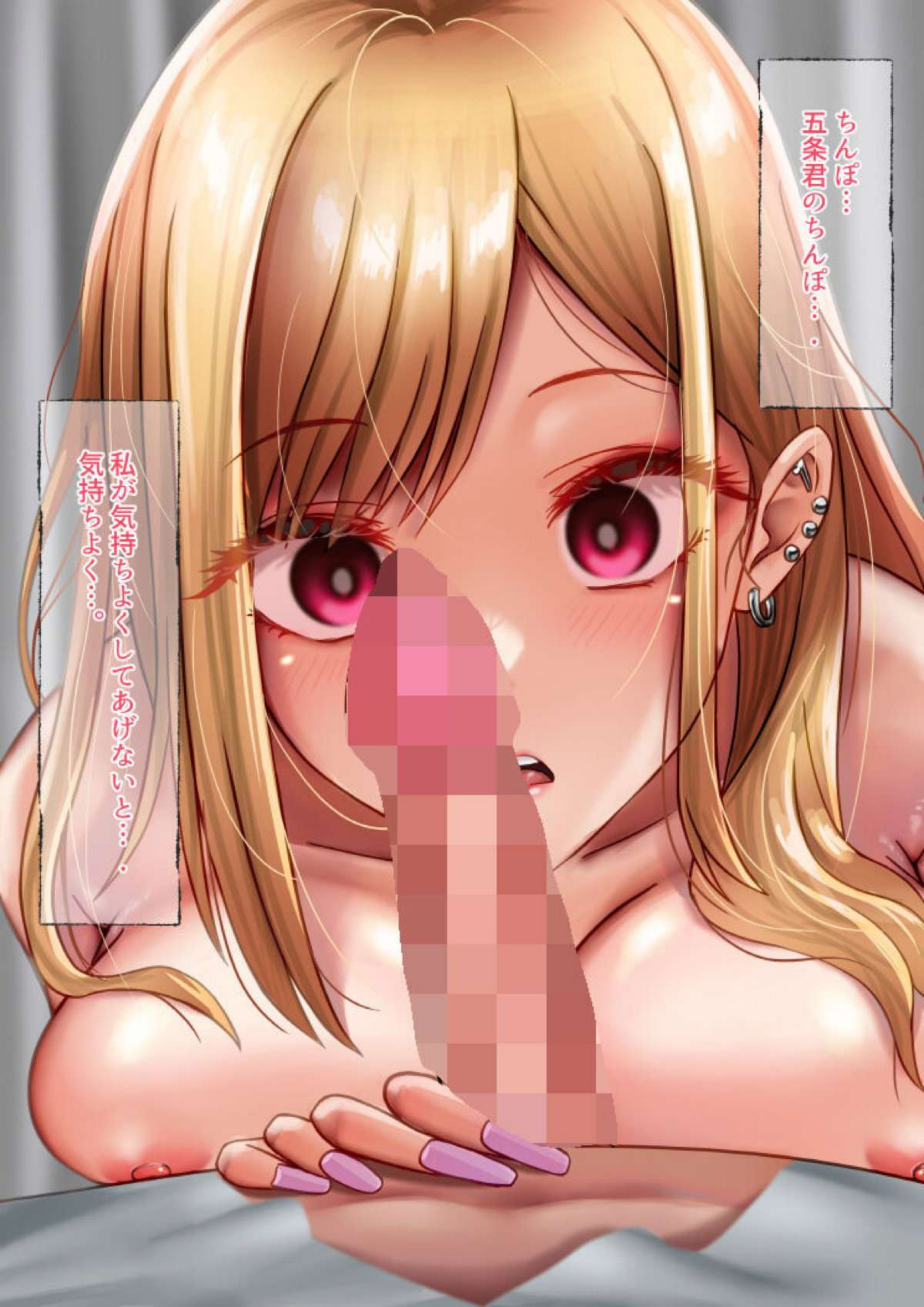
さあ、目の前にちんぽがあります。

あなたがしたい通りにしてみてください。



ちんぽ…
五条君のちんぽ…

私が気持ちよくしてあげないと…
気持ちよく…



やはりそう出るのか。

まあ確かに彼女はスキルはないけど、
それなりに新鮮な感じがあるね。

フュ
フュ





その程度では五条君が
気持ちよくなりません。

もつと舌を使って口の中で
転がしてみてください。

チュ〜

あ…言うや否や方法が変わったね。
これはちよつと危ないかも…。

亀頭と尿道具だけ集中的に攻略するのか。

チュルルル
チュルルル
チュルル

彼女はすっかり熱中しているね。

確かに今はちんぽをくわえているもので
彼女の頭の中がいっぱいになって1いるでしようから。

ヂュルルル
ヂュルルル
ヂュルル

ふう……。思わなかったな。

まさか素人の実力で行ってしまおうなんて。

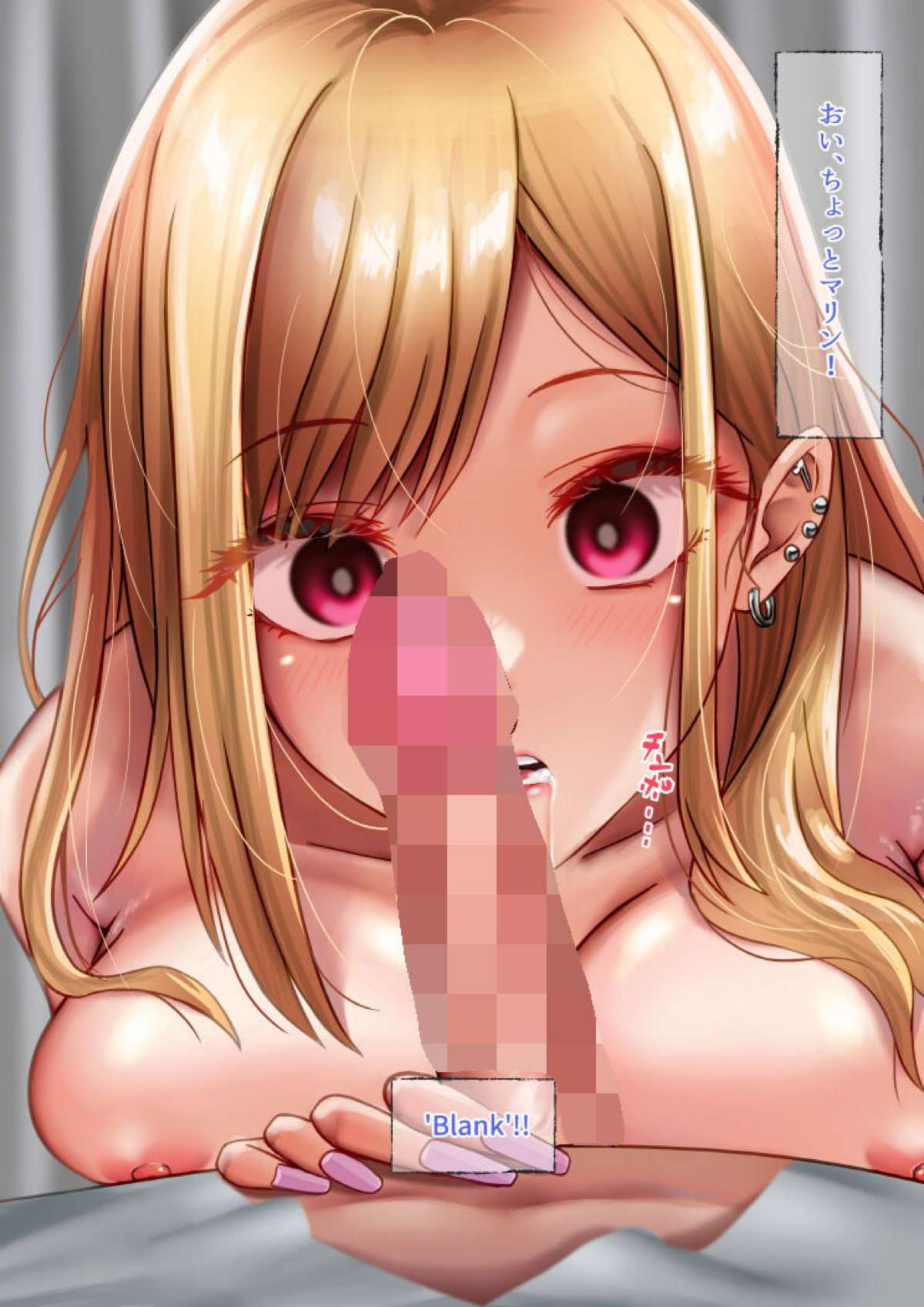
ドロ



おい、ちよつとマリリン！

ハッ
……

'Blank'!!



完全に自分だけの世界にはまったな。

本能だけが残っている状態なのか。

ホッ

ッ



さあ、あなたは次の状況に移ります。

ホー

3,2,1,0!

うーん、この姿勢はそれか…。

ふむ…。そうか。



ポ
〜

マリリン、あなたは今どんな状況ですか？



…催眠深度が深まり、
正常な意思疎通が不可能になったのか。

彼女はすっかり
深層意識の中にしまっているね。

ポ
〜





まあ、こうなったからには
やるべきことは一つだけだよ。

お

ただこすっただけなのに
ここまで愛液が多くなるなんて。

ゴロー

一体彼女の夢の中では
どれだけやってるんだろう？少し楽しみだね。

ホー

おお、入れたとたんこんな状態だなんて。
まるで何度も絶頂の状態のようだが……

まさかさつきから彼女は
絶頂に達していたのかな？





ぐほっ
ぐほっ
ぐほっ

いっ……いっ……いっ……めいっ……

へへへ……。五条君のチンポ……

イェっ♡



ううん……。絞り出すんだな...

セッ セッ

オオー
オオー

セッ

アッ
アッ...
ツッ
ツッ

ツッ
ツッ

五条君には少しすまない
ことをしてしまつたね。

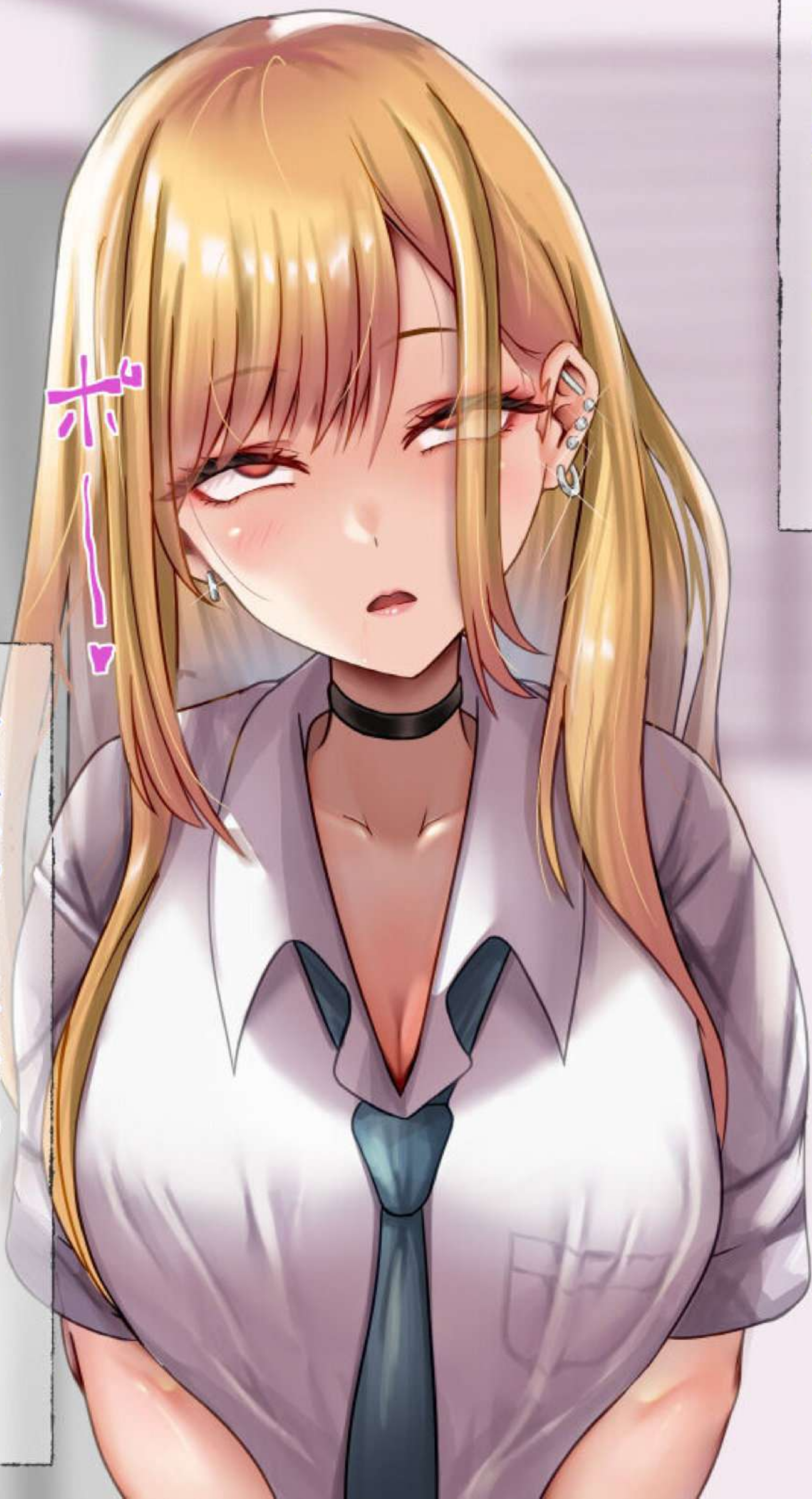
まあマリン本人が覚えて
いないから関係ないけど。



あなたはカウントが終わると
現実に戻るようになります。

ホー——♡

今までやってきたすべての
行為はあなたの夢の中で起こったことです。



しかしあなたの無意識の中には
相変らず私の命令に従わなければ
ならないという考えが根付いています。

ホー

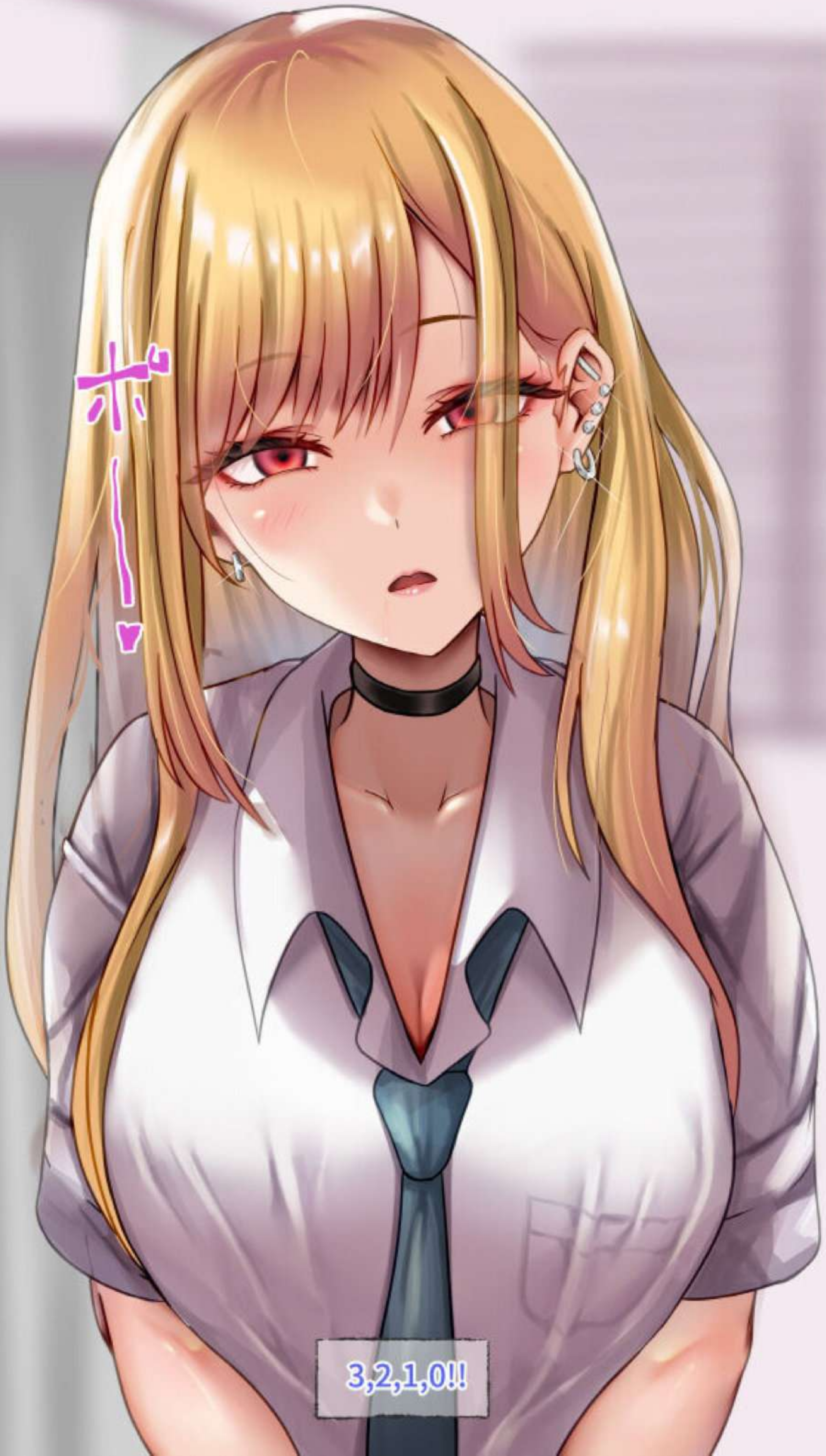
さあ、今、現実に戻ってきます。

5,4,3,2,1,0!!

現実に戻ります！

ホー！

3,2,1,0!!



ええ……？あれ……？

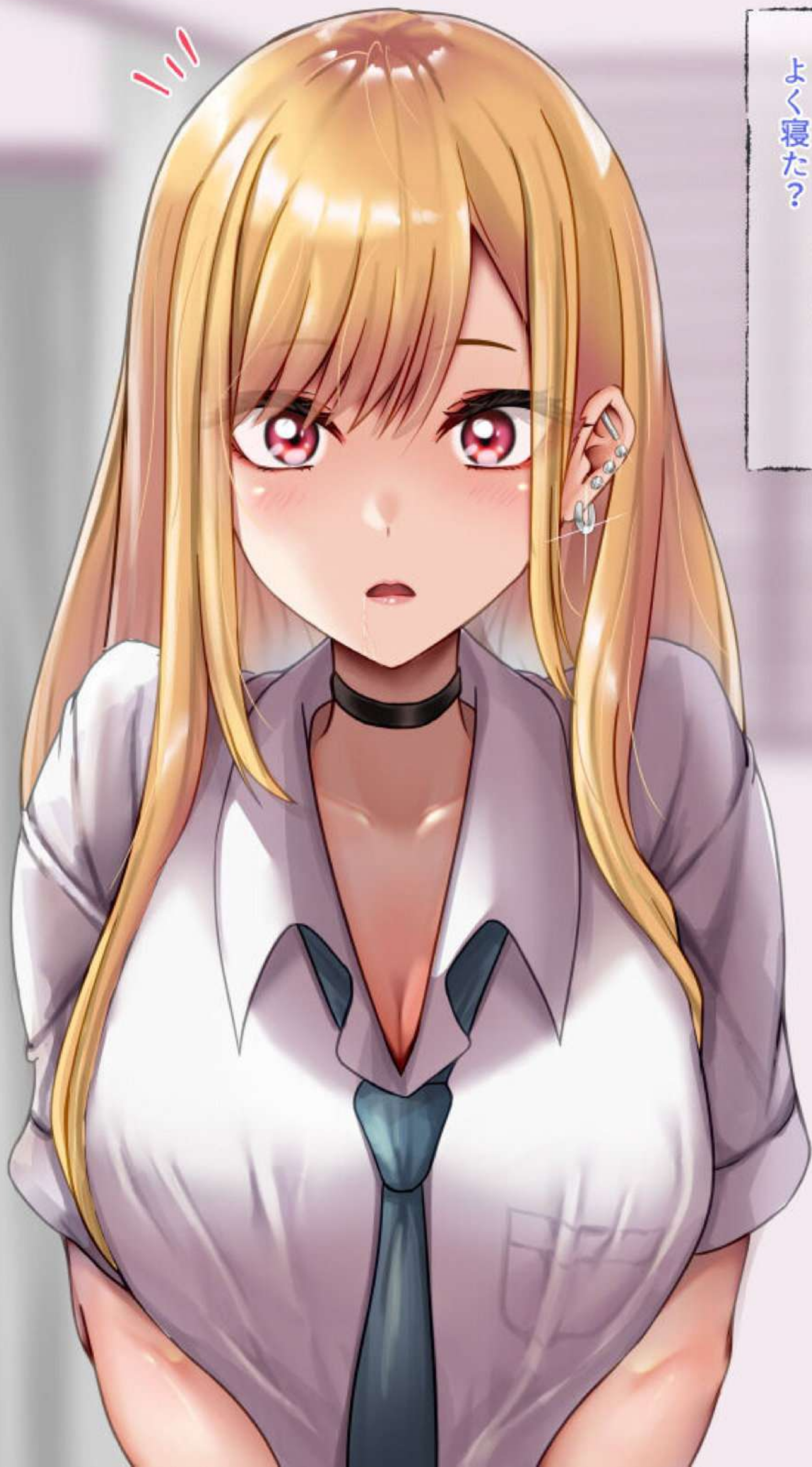
！！

ハッ

さっきまできつと私は……



こんにちは。喜多川さん。
よく寝た？



あれ？先生？なんでここに……

あ……あ……？





「そうだ。私催眠セラピーを受けてそのまま
眠ってしまったって……そんな夢を……」

あの喜多川さん？大丈夫？
気分はちよつとどう？

どこか不便なところはないかな？





あ…はい。うん。大丈夫だと思います。

うん、全然大丈夫！

よかった。催眠状態で寝言を言ってた。

何か変な夢を見ているような……



あの、先生、
もしかして私何か変なこと
言っていないの？





あ、確かに五条君が何と言っていたような……



先生!!それ秘密に!!



あははは。ごめん、ごめん。
確かにプライバシーの問題なんだね、これは。

心配しないで。
誰にも話さないから。

ああ…本当…。それを言ったとは。

人生最大過ち…



心配するなって。

それはそうだし、
喜多川さんが五条君をうん。・ハハハ。





どうか秘密でお願いします！

冗談だよ。本当に秘密守るよ。





それにしても喜多川さん？



あ
.....

'Blank'

うん。確かに秘密は守るよ。
私だけの人形マリリン。

ホー
ー
ー
ー
ー

そうするのが面白いから。



































